

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成
管理事業	まちづくり計画事業	所管部局	都市計画部

1	所管 室課	都市計画室	事業名	まちづくり活動支援事業			
事業概要							
まちづくり活動支援							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
・アドバイザー派遣回数 令和3年度…0回、令和4年度…1回、令和5年度…0回			決算額 (千円)	0	17	0	※課題があるものは■
			一般財源 の 比率(%)	0.0	100.0	0.0	■ 市民ニーズ、社会的役割
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				□ 有効性
			・地域の特性を活かした市民主体のまち づくりを推進するため、アドバイザーの 派遣や職員による出前講座の実施など により、まちづくりに関する情報の提供や 活動の支援を行ってきた。アドバイザー 派遣は地域特性を活かしたまちづくりの 推進には有効な手法であり、市民が地域 課題の共有をきっかけにまちづくり活動 をはじめようとする際にはいつでも派遣 要請に対応できるよう事業の継続が必要 である。また、支援の手法については、 アドバイザー派遣を含め、さらに検討す る必要がある。				□ 効率性
							□ 公平性
				■ 持続可能性	今後の実施計画 の方向性・内容		
				継続		アドバイザーの派遣な どによる活動の支援を 継続する。	

2	所管 室課	都市計画室	事業名	景観まちづくり推進事業			
事業概要							
景観まちづくり推進							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
・景観まちづくり条例に基づく事前協議・届出受付件数：350件 ・景観アドバイザー会議回数：20回（63件） ・吹田市屋外広告物条例に基づく許可件数：472件 ・吹田市違法屋外広告物除却促進連絡会による、簡易屋外広告物（※）の除却枚数：87枚 （※はり紙、はり札、立て看板、広告旗） ・景観公式Instagramの開設			決算額 （千円）	9,831	4,543	2,762	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	16.3	29.6	44.3	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			・市民・事業者への周知、理解、意識向上に向けて引き続き積極的にかつ継続的に取り組む必要がある。 ・景観まちづくり推進に向け、公共事業及び公共サインについても、庁内関係部局へのさらなる啓発、情報共有、連携が必要である。 ・屋外広告物の申請率向上に向け、効率の良い周知方法を検討する必要がある。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成
管理事業	まちづくり計画事業	所管部局	都市計画部

3	所管 室課	都市計画室	事業名	都市計画施設整備費積立事業		
事業概要						
都市計画施設整備費積立						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
都市計画施設整備基金への積立て 861,476千円		決算額 (千円)	1,005,380	182,520	861,476	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	99.9	100.0	99.8	☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続

4	所管 室課	都市計画室	事業名	都市計画推進事業		
事業概要						
都市計画審議会運営、都市計画情報デジタル化推進、都市計画マスタープラン						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
都市計画審議会運営事業・都市計画マスタープラン事業 ・都市計画審議会開催回数 令和3年度…2回、令和4年度…2回、令和5年度…1回 ・常務委員会開催回数 令和3年度…2回、令和4年度…0回、令和5年度…0回 都市計画情報デジタル化推進事業 ・地図情報システム閲覧回数 令和3年度…40,275回、令和4年度…36,617回、令和5年度…35,082回		決算額 (千円)	10,245	14,151	4,344	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		・市民や事業者等への都市計画情報の提供については、平成28年度からクラウドサービスを利用した検索機能のある地図情報システムを運用しているが、窓口・電話対応等に係る業務は依然多く、その効率化に向け更なる検討が必要である。 ・吹田市都市計画マスタープランに示す、都市空間の将来像実現に向けて、必要に応じて都市計画変更等を行うなどの検討を行っている。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成
管理事業	まちづくり計画事業	所管部局	都市計画部

5	所管 室課	計画調整室	事業名	都市機能検討事業		
事業概要						
都市機能検討						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
立地適正化計画に基づき、持続可能な都市・地域の形成に向けたまちづくりに取り組む。 令和5年度は、下記2業務の委託を行った。 ①上の川周辺まちづくり検討業務（その2） 本市の都市計画マスタープランにおいて「歩きたくなるまちづくりを推進」する旨を記載しており、上の川周辺まちづくり検討を進めている。土木部が行っている上の川周辺まちづくり検討業務の他にも周辺地域住民から要望のある市道千里山東山手線の拡幅の検討や、市道千里山東千里山西1号線の電線類地中化、水路暗渠化、美装化などの実現可能性検討を行った。 ②土地利用誘導等に係る基礎情報収集等業務 立地適正化計画に基づく土地利用誘導や持続可能な都市機能誘導のあり方などを検討するにあたり、検討分析の基礎となる情報の収集・整理をするとともに、想定される事例検討を行った。		決算額 (千円)	1,595	6,479	11,539	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		望ましいまちづくりの実現方策として、社会動向や地域特性を踏まえた公共事業や土地利用誘導等を進めていくことが必要である。また、まちの状況やまちづくりの進捗を適宜把握し、必要に応じた検討の深度化や見直しが必要である。				継続

6	所管 室課	計画調整室	事業名	千里ニュータウンまちづくり事業		
事業概要						
近隣センター活性化支援、北千里駅周辺活性化支援、千里ニュータウンまちづくり広域連携						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 北千里駅前地区及び竹見台・桃山台近隣センター地区に係る市街地再開発事業の検討 地権者等と協議・調整を行い、民間施行の市街地再開発事業の実現に向けた検討を実施した。 (2) 北千里駅前まちづくり意見交換会 地域住民と将来の北千里駅前について考える場として、北千里駅前まちづくり意見交換会を実施した。 (3) オープンスペース等の譲渡に伴う維持管理 竹見台・桃山台近隣センターオープンスペース等について、維持管理を実施した。 (4) 千里ニュータウンにおけるまちづくり活動等の支援 千里ニュータウンでまちづくり活動を行う市民団体へ、広報活動やイベント運営の支援を実施した。 (5) ポータルサイトの管理運営 千里ニュータウンに関する情報を集約した、ポータルサイト「千里ニュータウン情報館」の適切な管理運営を行った。 ※R4年度の一般財源の比率を99.7%から99.5%に修正しました。		決算額 (千円)	40,373	3,113	1,697	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	35.2	99.5	13.8	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		(1) に関しては、地区センター及び近隣センターの再生・活性化に向けた民間施行の市街地再開発事業を進めるにあたり、地権者の合意形成を図るとともに、事業費の検証を行い、財源確保に努めなければならない。また、北千里駅前地区においては、駅前としての機能誘致をリードしていく必要がある。				継続
		(4) に関しては、千里ニュータウンで活動する市民団体に対し、持続的な支援の在り方を探る必要がある。				
(4) については、引き続き関係機関と連携し、広域的交流事業を支援する。						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成
管理事業	上の川周辺整備事業	所管部局	土木部

1	所管 室課	地域整備推進室	事業名	上の川周辺整備事業			
事業概要							
上の川周辺まちづくり							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
令和5年度の主な業務・工事 事業中期間 （１）上の川遊歩道整備 ・基盤整備工事（大阪府発注）：吹田市分の負担 ・上の川上面整備施工計画検討ほか修正設計業務 ・上の川周辺健康増進遊具設置等検討業務 （２）花壇踏切及び橋梁改良（拡幅） ・円山町1号橋拡幅改良工事に伴う支障物移設工事補償 ・円山町1号橋拡幅改良工事			決算額 （千円）	37,347	340,471	802,267	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	13.8	1.4	4.4	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
延伸区間 （１）遊歩道など延伸検討 ・遊歩道延伸検討業務			事業中区間については、令和2年度に都市構造再編集集中支援事業の採択を受け事業着手し、令和7年度末完成に向けて、府市連携により事業進捗を図っている。延伸区間については、事業実現に向け、協議調整を行っている。			継続	
						事業中区間と同様、府市連携による道路空間再配置を含めた延伸区間の事業実施。	

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
							今後の実施計画 の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	611	施策	土地利用誘導と良好な景観形成
管理事業	千里ニュータウン情報館事業	所管部局	都市計画部

1	所管 室課	計画調整室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（情報館）			
事業概要							
千里ニュータウンプラザ施設管理							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 千里ニュータウンプラザ内の千里ニュータウン情報館に係るサービス購入料（維持管理） 令和3年度…4,560,128円、令和4年度…4,606,400円、令和5年度…4,606,400円 (2) 千里ニュータウンプラザ内の千里ニュータウン情報館に係るサービス購入料（修繕） 令和3年度…1,586,632円、令和4年度…0円、令和5年度…256,662円 (3) 千里ニュータウンプラザ内の千里ニュータウン情報館に係るサービス購入料（設計・建設） 令和3年度…9,269,322円、令和4年度…8,825,352円、令和5年度…8,706,416円 (4) 需用費（電気料金・上下水道料金） 令和3年度…1,092,493円、令和4年度…1,773,424円、令和5年度…1,633,380円 維持管理については、PFI事業として令和13年度までの20年間一括契約である。サービス購入料として、千里ニュータウンプラザの維持管理費、修繕費及び設計・建設費を支払っており、費用については各施設の専有面積で按分して算出している。			決算額 (千円)	16,509	15,205	15,203	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			本事業はPFI事業によるサービス購入料と光熱水費のみの構成であり、千里ニュータウン情報館の維持管理及び運営のためには必要な経費である。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
			引続き千里ニュータウン 情報館の適切な維持 管理を行う。				

2	所管 室課	計画調整室	事業名	千里ニュータウン情報館展示等事業			
事業概要							
千里ニュータウン情報館展示等							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 入館者数 令和3年度…10,468人、令和4年度…21,084人、令和5年度…32,336人 (2) 企画展示等開催日数 令和3年度…43日、令和4年度…94日、令和5年度…60日 (3) ポータルサイト閲覧者数 令和3年度…36,305人、令和4年度…42,494人、令和5年度…45,214人			決算額 (千円)	1,938	2,287	3,160	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.8	99.8	99.7	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			入館者の増加は、千里ニュータウンへの 関心を持つ地域住民等の交流や連携を促 進するコミュニティーの形成につながる ため、今後とも入館者の増加につながる 取組みの充実に努める。千里ニュータウ ンへの興味を持つきっかけづくりとして ポータルサイトを活用し、様々な情報を 広く発信する。情報館の目的を十分に発 揮できるよう手法や内容を検討し、適正 なコストでの運営を行う。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
			情報館の目的を発揮で きよう手法や内容の 検討をする。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名